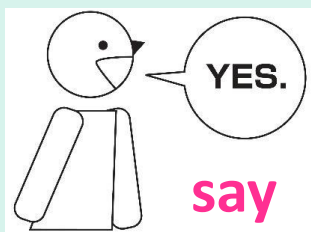
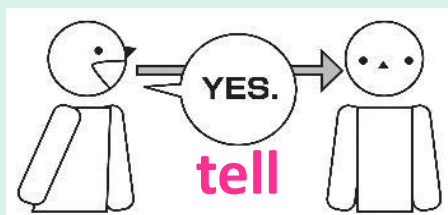


< 基本動詞 > say & tellの世界

CORE IMAGE



ある内容をいう



相手に内容を伝える

Tell me.



say のコアは「ある内容をいう」というものです。

say は「言う中身 (内容)」を強調する動詞で、**Just say “Cheese.”** といわれれば、“Cheese.” と答えます。**Say “when.”** (いいという時に when と言ってね) に対しても “When.” と答えればいいわけです。say の名詞形に、a saying というのがありますが、内容を重視する say の持ち味が活かされていると思います。**What did he say?** だと「彼何と言った?」ということで、やはり、言った内容に関心があります。**He talked a lot, but didn’t say much.** だと「彼はいろいろ話したけど、たいしたことは言っていないよ」ということです。**If you see something, say something.** といえば「不審物を見かけた際にはお近くの係員にお知らせください」ということです。



Just **say** “Cheese.”

「チーズ」と言ってね



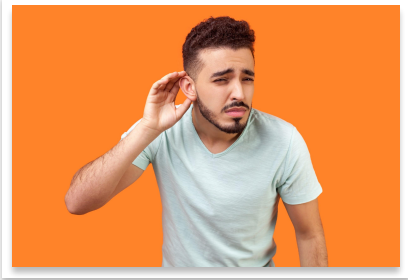
Say “when.”

いいという時に when と言ってね



If you see something, **say** something.

不審物を見かけた際はお近くの係員にお知らせください



What did he **say**?

彼何と言った?



He **talked** a lot, but didn't say much.

彼はいろいろ話したけど、たいしたことは言っていないよ

Enough said, Mom. I won't do it again. といえば、「わかったよ。お母さん。もうやらないよ」ということです。相手の言いたい内容は十分に分かったということです。「まったくその通り」という際にも、内容に関心があることから、**You can say that again.** となります。「わかったから、もう言わないで」だと **OK. I understand. Say no more.** と表現します。



Enough **said**, Mom. I won't do it again.

わかったよ。お母さん。もうやらないよ



You can **say** that again.

まったくその通り



OK. I understand. **Say** no more.

わかったから、もう言わないで

一方、tell のコアは「相手に内容を伝える」というものです。コアイメージで示すと CORE IMAGE の下の図のようになります。

内容の伝達がポイントとなります。I'll tell you this. (君にこのことを伝えよう)が典型例です。内容の伝達なので相手が必要で、会話で Tell me. がよく使われますが、「ねえ、教えて」という意味合いです。Tell me, what did you do last night? (ねえ、教えて。昨夜は何をしたの)といった具合です。I'll tell you what. は I'll tell you what I think. の省略形で、これも内容を相手に伝えるという tell が生かされています。「前に言ったように」という場合も、say は内容だけを問題にするため I said before となりますが、tell は「誰かに伝達する」ということから as I told you before と you を必要とします。Are you telling me? だと「そんなことがよく言えたもんだ」という意味合いで使われます。me を強調して Are you telling ME? といえは「私に言っているのかい?」といった感じ、I'm not telling you. だと「教えてあげないよ」といった感じです。



I'll **tell** you this.

君にこのことを伝えよう



Tell me, what did you do last night?

ねえ、教えて。昨夜は何をしたの



I'll **tell** you what. /
I'll **tell** you what I think.

私の考えをお話しします



as I **told** you before

前に言ったように



Are you **telling** me? /
Are you **telling** ME?

そんなことがよく言えたもんだ /
私に言っているのかい？



I'm not **telling** you.

教えてあげないよ

Speak は言語音を出すところを強調した動詞、talk は遣り取りを強調した動詞、say は発話内容を示す動詞、そして、tell は内容を相手に伝達する際の動詞で、うまく分業ができていますね。